※令和３年度以前入学生用

学校番号	101

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史　（山川出版社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 学習した事項を知識として覚えるだけでなく、自分の行動や考え方などに応用できる力を養うことが大切です。
- それぞれの時代の発展に応じて、法律・文化・宗教・政治制度が変化していくことを理解しましょう。
- 受身でなく自分たちで考え、積極的に授業に参加するようにしましょう。
- 授業中の疑問はそのままにせず、すぐに質問して理解するようにしましょう。

２　学習の到達目標

- 日本の歴史についてさまざまの角度から総合的に理解する。
- 日本の文化・制度・宗教・政治などについて基本的事項を系統立てて学習する。
- 日本の歴を学習することで、現代の日本を考え、日本の歩むべき道について考える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習を暗記だけでなく、歴史的事実や現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見い出し、分析したり、総合的に考えたり、科学的に分析できる。また、それを表現することができる。	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 小テスト 発言・発表 ノート提出	定期考査 小テスト 発言・発表 ノート提出	定期考査 小テスト 発言・発表 ノート提出	定期考査 小テスト 発言・発表 ノート提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	古代・中世	旧石器・新石器・縄文・弥生 文化と律令国家の形成 摂関政治・院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立	○	○	○	○	a:学習内容への興味関心がある。 b:学習内容と他内容との関連が身についている。 c:史料の講読と図の理解ができている。 d:政権成立の理解と知識を持っている。	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出
1	中世・近世	鎌倉時代の政治と外交 室町時代の政治と外交 江戸時代の政治と外交	○	○	○	○	a: 学習内容への興味関心がある。 b: 学習内容と他内容との関連が身についている。 c:史料の講読と図の理解ができている。 d:政権成立過程の理解と知識を持っている。	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出
2	近世	江戸時代の政治と外交の続き	○	○	○	○	a:学習内容への興味関心がある。 b:学習内容と他内容との関連が身についている。 c:史料の講読と図の理解ができている。 d:政治と外交についての特色が理解できている。	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出
2	近代1	明治時代の政治・経済と外交	○	○	○	○	a:学習内容への興味関心 b:学習内容と他内容との関連 c:史料の講読と図の理解 d:明治時代の政治・経済と外交についての理解と知識	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出
2	近代2	大正時代の政治・経済と外交	○	○	○	○	a:学習内容への興味関心 b:学習内容と他内容との関連 c:史料の講読と図の理解 d:大正時代の政治・経済と外交についての理解と知識	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出
3	近代3	昭和時代(第二次世界大戦終結まで)の政治・経済と外交	○	○	○	○	a:学習内容への興味関心 b:学習内容と他内容との関連 c:史料の講読と図の理解 d: 昭和時代(第二次世界大戦終結まで)の政治・経済と外交についての理解と知識	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出

※令和３年度以前入学生用

3	現代	現代（第二次世界大戦後～）の政治・経済と外交	○	○	○	○	a：学習内容への興味関心 b：学習内容と他内容との関連 c：史料の講読と図の理解 d: 現代（第二次世界大戦後～）の政治・経済と外交についての理解と知識	定期考査 単元テスト 発言発表 ノート提出

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。